

臨床研究へのご協力をお願い

東京医科大学 救急・災害医学分野では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の許可のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように個人のプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究にカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。不参加のお申し出があった場合も、患者さんに診療上の不利益が生じることはありません。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

[研究名称]

三次救急医療機関に搬送され集中治療をうけた高齢者におけるポリファーマシーについて

[研究の背景]

ポリファーマシーとは使用薬剤数が多いことに加えて、潜在的に不適切な処方 (potentially inappropriate medications: PIMs) が含まれていること、同効薬が重複していること、本来使用されるべき疾患に対して必要な薬剤が処方されていないことと定義されています。ポリファーマシーにより、有害事象が生じ服薬アドヒアランスの低下、医療費の増大、死亡率の上昇が生じます。

一般外来だけでなく、三次救急医療機関である救命救急センターに搬送される患者においても近年、特に高齢者におけるポリファーマシーに遭遇することが増えてきています。一般外来や二次救急医療機関の救急外来に搬送された患者に対するポリファーマシーの報告はありますが、救命救急センターに搬送され集中治療をうけた患者におけるポリファーマシーについては十分に検討されていません。そこで我々は、当院の救命救急センターに搬送された高齢者におけるポリファーマシーに関して調査します。

[研究の目的]

診療録を用いて、疾患の頻度や分布、臨床的な特性及び疾患の診断法・治療・その他のケアの効果・安全性等に関して適切な解析を行うことにより、新たな診断法・治療法・予防法等を検討する資料とすること、他の方法で収集が困難な情報も含めて解析することで、疾病の予後や生活の質の改善、または健康の維持・増進に資する知見を得ることを目的としています。

[研究の方法]

- 対象となる方

東京医科大学病院の救命救急センターに搬送され EICU に入院となった患者

2018 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 30 日の期間に入院された 75 歳以上の方
--

● 研究期間

研究許可日～

2022 年 9 月 30 日

● 利用するカルテ情報

年齢・性別・身長・体重・生活習慣・出生地域などの基本情報

疾患名・重症度・疾患の進展に関する情報

全身状態・日常生活動作・生活の質に関連する情報

入院時・退院時の処方薬、処方元医療機関に関する情報

併存症の有無と治療の内容

生死や疾患の増悪・軽快の日時に関する内容

医療保険の種類に関する内容

これらのカルテ情報を用いて解析を行います。

● 情報の管理

情報は匿名化を行って、直ちに個人が判別できる情報は含まれないよう加工されます。匿名化された情報から研究対象者を識別できる対応表は、研究責任者の指示に基づき施錠された場所またはパスワードで保護された電子情報として保管されます。保管期限は研究終了または論文公表から 5 年間です。

診療科(部署)名	救命救急センター
情報の管理者名 (研究責任者または研究分担者)	会田 健太

[研究組織]

	職名	氏名	研究における役割
研究責任者	助教	会田 健太	研究統括 情報の管理 統計解析 データ収集と整理 データ収集と整理
研究分担者	主任教授	本間 宙	研究指導

[問い合わせ先]

相談窓口	担当者名	会田 健太
	住所	東京都新宿区西新宿 6-7-1
	施設名	東京医科大学病院
	診療科(部署)	救命救急センター
	電話番号	03-3342-6111 内線 62899 (平日 9:00 ~ 17:00)